

第15期 | 2006年4月1日 ▶
2007年3月31日

株主通信



GREEN HOSPITAL SUPPLY

証券コード：3360

グリーンホスピタルサプライ株式会社

S.H.I.P.

Sincere 誠実な心 + Humanity 「情」の心 + Innovation 革新者の気概 + PartnerSHIP パートナーシップ

目標

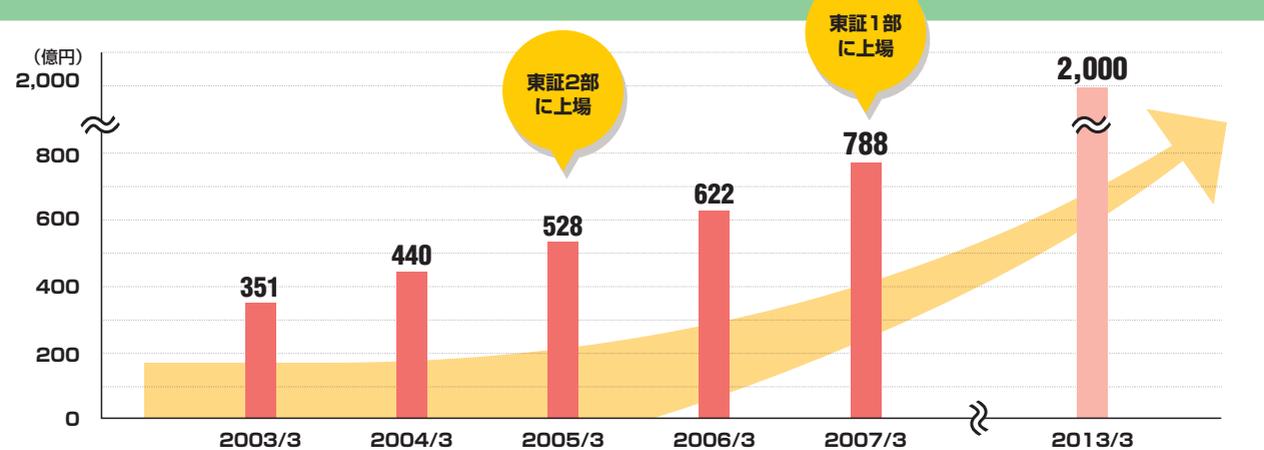
2013年3月期

連結売上高 **2,000**億円
連結経常利益 **100**億円

記念配当を実施

平成19年3月1日をもって、東京証券取引所市場第一部に指定されたことを受け、記念配当を実施

年間配当 **1,500**円
普通配当 1,000円
記念配当 500円



感謝

皆様のご支援により、
東京証券取引所市場第一部に
上場いたしました。

当社グループは、超高齢化社会を迎えようとする我が国において、1992年に「医療」「保険」「福祉」の3分野に特化した企業としてスタートいたしました。設立以来、S.H.I.P.のグループ理念を基に、業界のイノベーターとして新しい視点、より効率的な事業構造、病院を中心とする医療機関への総合的サポートを実現し、業容を拡大してまいりました。その結果、2005年2月には東京証券取引所市場第二部に上場し、そしてこの度、2007年3月に市場第一部銘柄に指定されました。この急速な成長は、株主の皆様をはじめ関係各位のご支援によるものと、心より感謝申し上げます。

さて、現状における当社を取り巻く環境につきましては、当社事業が深く関係する病院業界において、2006年4月の大幅な診療報酬のマイナス改定と、医師臨床研修制度改革等による医師・看護師不足が深刻化したことなどにより、病院経営が一層厳しくなっております。この結果、病院との事業を展開する当社においても、価格引下げ圧力などの影響が見られます。しかしながら、当社のビジネスモデルは、元来、イノベーター的特質を持ち、出来高主義の経営からコスト管理型経営への

移行、分野別の個々の取引から効率的な総合取引など、新しい病院経営が強く求められる状況こそ、真価を発揮し成長をもたらします。現状における厳しい環境の中にある病院経営は、当社の持つ様々な特長と総合サポートの価値を高め、新たなビジネスチャンスにつながる好機と捉え、より積極的な事業拡大を目指してまいります。

当社は、病院とのパートナーシップのもと、総合的に病院経営・運営をサポートし、より健全な、より時代が求める病院づくりに寄与し、「地球と地域にやさしい“生命を守る人の環境づくり”をめざして」まいります。

代表取締役社長

古川 國久

今後の成長に向けた基本戦略

当社のビジネスの基本は、医療機関とのパートナーシップにあります。このパートナーシップを基に、「トータルバックシステム事業」を軸としたシナジー効果が最大に発揮できる事業構造をつくり上げてまいります。現在当社では、収益機会をさらに拡大する「ビジネスモデルの進化」、そのビジネスモデルの質とスケールを拡充する「最強の企業体質づくり」、そして継続性ある成長を図る上での「収益性・資産効率の向上」を基本戦略とし、グループ価値の最大化を目指しております。また、こうした取り組みを実現していく上で、グループ内の機能、事業分野の集約と統制を図るためにグループ企業のユニット化を進めております。

中期目標の達成に向けて

当社が事業の対象とする医療業界は、医療制度の様々な変革の中で、経営の改革が求められてきております。

こうした状況から、当社の潜在顧客は全国にまだまだ存在し、ビジネスチャンスは大きいものと捉えております。

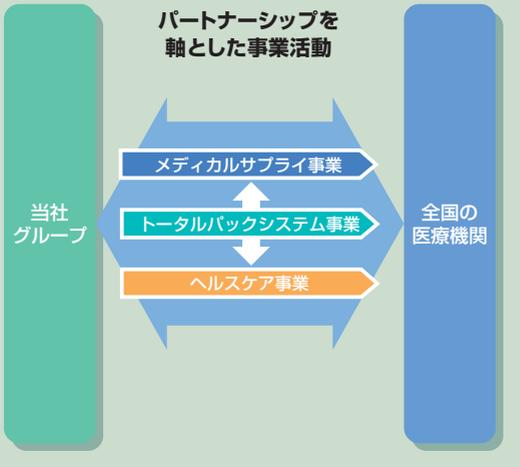
現在、当社グループは、2013年3月期に連結売上高2,000億円、連結経常利益100億円を目標として掲げております。この達

成に向けては、医療機関とのパートナーシップをより強固にしていくとともに、グループネットワークを活用し、新たな得意先を開拓してまいります。また、当社グループが展開する「トータルバックシステム事業」「メディカルサプライ事業」「ヘルスケア事業」の3事業のバランスのとれた収益構造をつくり出し、安定した経営基盤を構築してまいります。

当社グループの基本戦略

事業分野	部門	具体策
トータルバックシステム事業	コンサル・流通部門	プロジェクト対応の拡大、サービスプロバイダー機能の強化、旬の商品や変化をビジネス化
	製造部門	製造者として高品質、高付加価値商品の開発・製造を徹底
	医療情報システム部門	当社グループの特色を生かした医療情報システムの開発・販売
メディカルサプライ事業	地域ディーラー部門	仕入機能の強化、企業連携・統合の可能性へのチャレンジ
	業務・システム受託部門	DPC*対応システムへの更なる進化、地域有力ディーラーとの提携促進
ヘルスケア事業	調剤薬局部門	調剤薬局売上高200億体制へ向けて体制構築
	介護付有料老人ホーム部門	病院共同事業モデルの追求

*DPC:Diagnosis Procedure Combinationの略。診断群分類による包括評価制度をいい、これまでの出来高制度にかわって導入が予定されている。



幅広い領域における総合サービスへ

Soft

&

Hard

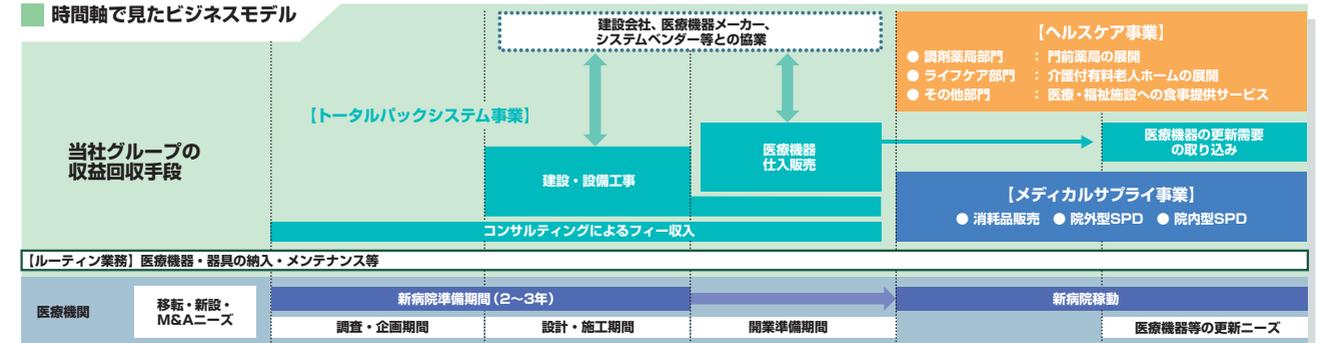
当社のビジネスモデルの特長は、病院経営に係る全ての工程を広く総合的にサポートし、トータルソリューションを提供できることにあります。このビジネスモデルをさらに進化させて、コンサルテーション、システムなどのソフトと、医療設備、医療機器、診療材料などのハードの両面においてサポート領域の拡充を目指してまいります。

ワンストップソリューションの継続的提供

当社グループの事業は、医療機関とのパートナー関係をベースに「病院経営」の立場から、ワンストップソリューションを提供していくことにあります。この基本的立場から、当社グループのビジネスモデルをさらに進化させていくには、いかにサポート可能な領域を広げ、いち早く提供するソリューションの質を高めていくことにあります。こうした観点から、当期、(株)セントラルユニをグループ化し、従来からのコンサルティング・

流通部門に加え、製造部門としての事業を新たに展開してまいります。また、同社との関係により、サービスプロバイダー領域における対応業務もほぼ全領域をカバーできるようになりました。加えてアイネット・システムズ(株)をグループ化し、医療情報システム事業において、当社グループの特色を生かしたシステムの開発と販売を行ってまいります。

時間軸で見たビジネスモデル



最強の企業体質づくりへ

当社グループは、業界のイノベーターとして、時代を先取りする形でビジネスモデルの進化を図ってまいりました。私どもの提供するサポート・サービスは、経営改革、業務改革を目指す医療機関にとって期待されるものとなってきております。こうした中、そのソリューションの質を高め、今後想定される競争に打ち勝つためにも、必要と思われる分野・領域において、M&A・提携を推進し、最強の企業体質を構築してまいります。

M&A・提携のポイント

スケール拡大

現在、様々な業界において寡占化が進み、規模をベースにした優勝劣敗が起こり出しております。当社にとっては、従来からのビジネス領域である流通分野においてバイイングパワーの強化が不可欠なものとなり、調剤薬局部門などのスケール拡大に向けたM&Aを実現しております。

機能拡充

ビジネスモデルの進化に必要な新しい機能、従来のサービスを補完する機能などを持つ企業、ソリューション品質の向上とビジネス機会の創出に相乗効果が期待できる企業をグループ化し、機能の拡充を図ってまいります。

2007年3月期の主なM&A

(株)セントラルユニの 連結子会社化

今回、(株)セントラルユニを当社グループに迎えることにより、新たに製造部門と業務・システム受託部門が加わりました。このことにより、「トータルバックシステム事業」において医療設備・医療機器分野の新たなビジネスチャンスが広がりました。また、メディカルサプライ事業においては、(株)セントラルユニグループが持つノウハウとネットワークを活用し、ビジネス機会の拡充を目指してまいります。

(株)サンライフの 全株式を取得

(株)サンライフは、神奈川県を中心に営業基盤を持ち、地域の有力な医療機関と強力なネットワークを築いております。この(株)サンライフを当社グループに迎え入れることにより、比較的営業基盤の弱い首都圏において、新規顧客の獲得を目指してまいります。

(株)仙台調剤の 全株式を取得

(株)仙台調剤は、宮城・岩手県に堅固な事業基盤をもつ調剤薬局チェーンとして、先進的な独自のノウハウと充実した人材育成体制、効率的経営手法を築いております。当社グループは、同社を連結子会社化することにより、寡占化が進む調剤薬局業界において事業規模を拡大し、効率かつ安全な事業体制を構築してまいります。

アイネット・システムズ(株)の 連結子会社化

アイネット・システムズ(株)は、診療所から大規模病院までをカバーする、電子カルテシステムの開発、販売の実績をもつ社員数100名規模の独立系の医療情報ソフトハウスです。また、ネットワーク事業も内包するソフトハウスとして、当社グループの特色を生かす、新たなシステムの構築を目指してまいります。

持続性ある成長を目指して

現在、病院をはじめとする医療機関の経営改革への意識の高まりを受け、当社グループのビジネスチャンスは拡大しております。しかしながら、現実には価格引下げ圧力などが見受けられ、当社グループとしても事業の効率化は不可欠なものとなっております。また、継続的な成長を目指す上で、投資バランス、財務体質強化も視野に入れた経営を行ってまいります。

生産性の向上

当社グループは、継続的な発展を目指す上で、様々な分野における生産性の向上を図っており、規模の拡大とソリューション品質のアップに向けて、グループ会社数が急激に増えております。こうした中で、グループ会社間のシナジーを高め、生産性を向上させていくためにユニット制を導入し、各ユニットで目標を掲げその達成に努めてまいります。また、事業ベースでは、「メディカルサプライ事業」において、業務・仕入管理システムの再構築に約4億円を投資し、生産性の向上を図ってまいります。

このように当社グループは、規模の追求のみならず、継続した業容拡大に向けて着々と事業体制を整備しております。



不動産の流動化

「ヘルスケア事業」のライフケア部門で展開する介護付有料老人ホーム事業においては、当初より一部関連不動産を流動化し資産効率を上げることを前提として事業化を進めてまいりました。この考えに基づき、単月営業利益が黒字化した連結子会社ホロニックライフ(株)の保有不動産を流動化し、当社グループの財務体質の強化を図りました。

今後におきましても、投資と成長と財務体質のバランスを見定め、グループが保有する不動産の流動化を検討してまいります。

譲渡資産の内容

物件名称	エスベラル城東
所在地	大阪府大阪市城東区鷗野西4丁目1番24号
資産の概要	(土地) 4,539.01m ² (建物) 14,265.92m ²
帳簿価格	3,517,767千円
譲渡価格	5,000,000千円
決裁方法	全額現金決裁

譲渡先 野村ホールディングス(株)の100%出資子会社である野村ヘルスケア・サポート&アドバイザー(株)がアセットマネジメント業務を受託する損津特定目的会社

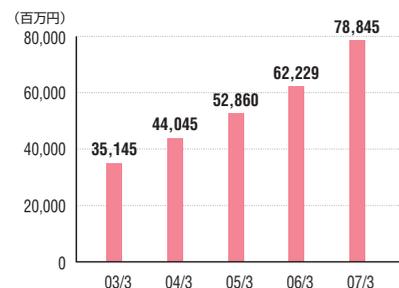
連結財務ハイライト

主な経営指標の推移

(単位:百万円)

	2003/3	2004/3	2005/3	2006/3	2007/3
売上高	35,145	44,045	52,860	62,229	78,845
営業利益	1,422	1,639	2,713	3,229	3,297
経常利益	1,357	1,584	2,515	3,327	3,643
当期純利益	484	834	1,305	1,696	2,468
総資産	29,219	34,890	47,410	64,435	90,213
純資産	2,477	3,734	10,130	18,316	25,726

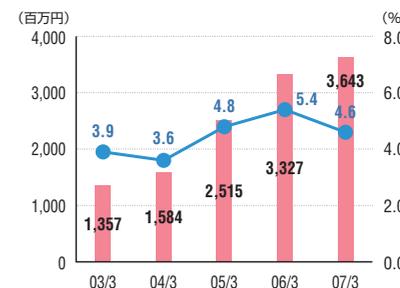
売上高



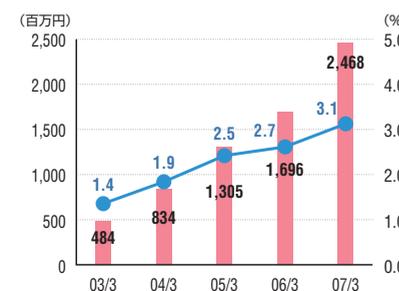
営業利益・営業利益率



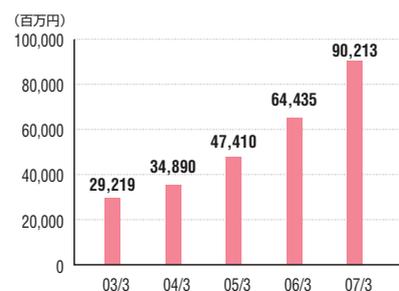
経常利益・経常利益率



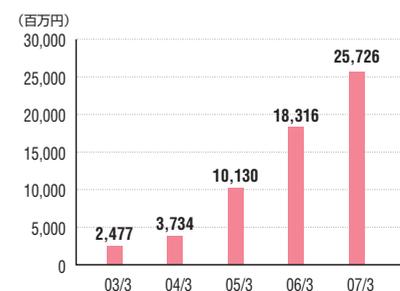
当期純利益・当期純利益率



総資産



純資産



事業別の概要

トータルパックシステム事業

Total Pack System



事業概況

当期におきましては、プロジェクト案件は当初以上の件数を確保し、当初予定通りの売上高を確保しましたが、第4次医療法改正後に計画をスタートした大型プロジェクトが上半期でほぼ一巡し、下半期は中小型プロジェクトが主流となりました。また、既存得意先の機器更新需要や新規機器購入については、各病院が厳しい経営環境を強いられる事態となったことを受け、一時的な調整局面となりました。

一方で、当期に連結会社となりました(株)セントラルユニグループ関連各社も、当期においては構造改革による原価低減策や販売管理費の削減等の効果により業績を急速に回復させ、ほぼ当初予定通りの業績を収めることができました。

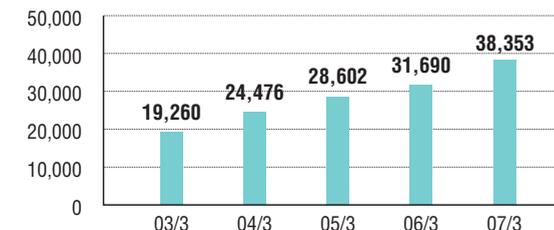
以上の結果、売上高は38,353百万円(前期比21.0%増)、営業利益は3,363百万円(同4.8%増)となりました。

今後の方向性

当社グループといたしましては、市場の質的変化に対して「トータルパックシステム」の更なる進化の姿を、サービスプロバイダー機能を強化した「経営支援型SPCシステム」の展開と位置付け、必要となる人材の集積と医療周辺サービス事業分野への進出を通じ、関連事業ノウハウの取得を進めております。

売上高(連結)の推移

(単位:百万円)



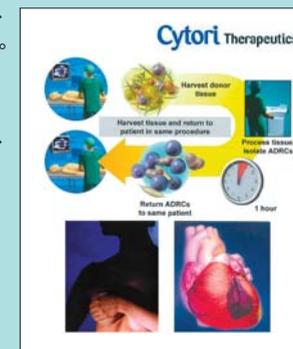
また、引き続き病院事業再生ビジネスや病院M&Aビジネス、病院PFIビジネス、独立行政法人化関連ビジネス、病院統合関連ビジネス、投資ファンドと連携した開発ファンド型ビジネス等の“旬”なビジネスチャンスを捉える事業展開を図ってまいります。

加えて、積極的な企業M&Aを図った結果、多様な事業集団を形成するに至り、グループ各社との連結・運動による事業シナジー効果の追求とともに、チーム力の更なる強化を踏まえた人材育成を重要経営課題として位置づけ、推進してまいります。

トピックス

再生医療分野への進出

ヒトゲノムの解析など、遺伝子工学の進展。また、バイオ技術の進化などにより、医療分野において新しい治療法の研究・実施が進む中、再生医療が近年クローズアップされています。この再生医療は、体の一部が死滅してしまった場合やガンなどで正常な臓器や組織の動きが損なわれた際に、細胞を利用して失われた機能を回復させる治療法です。この再生医療は、今後、有効な治療法として普及することが予測されております。このような状況下、当社は継続的に医療機関に対して総合的なサポートを行っていく上で、この分野にも進出してまいります。具体的には、「自家移植による脂肪由来幹細胞を利用した再生医療ビジネス」の展開を目指し、脂肪組織から細胞を抽出する技術の特許保有企業(サイトリ社)へ投資を行い事業提携を進めております。そして、再生医療の普及に合わせ、「日本の幹細胞バンク事業」へとつなげてまいります。



事業別の概要

メディカルサプライ事業



事業概況

当期におきましては、院外SPDシステムによる新規売上先は5件増加し、このほかに予定しておりました1件については結果的に運用開始が2007年4月からとなりました。下半期においてはさらに2件の運用が内定し、同年4月より運用が開始されるなど、当社グループの業績拡大の牽引役を果たせる事業に成長してまいりました。また、業務の効率化や利益率の向上等の経営合理化に引き続き注力してきた結果、各病院の価格下げ圧力が強い中ではありましたが、営業利益率は対前期比較において改善いたしました。

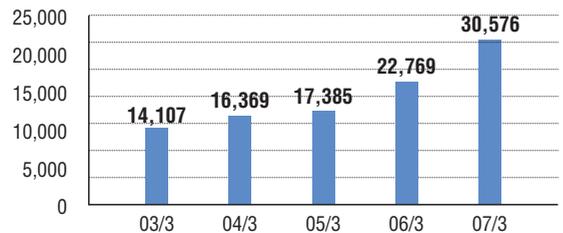
さらには、当期に連結会社となりました(株)サンライフ、(株)エスエフユニマネジメント各社も順調に推移し、連結業績に寄与したこともあり、対前期比較において大幅な増収と増益を果たしました。

以上の結果、売上高は30,576百万円(前期比34.3%増)、営業利益は1,015百万円(同64.9%増)となりました。

今後の方向性

当社グループといたしましては、価格競争に勝てる企業体質づくりをするために、管理コストの見直しを図るとともに、仕入機能の集約・強化と業務効率向上を引き続き追求しながら、更

■ 売上高(連結)の推移 (単位:百万円)



に営業推進機能を付加して経営・事業効率を高めてまいります。また、販売管理システムとSPD管理システムの再構築のため「情報システム本部」を新設し、経営効率の向上に努めてまいります。加えて、引き続き同業他社の企業間連携や企業統合が進む中で、当社グループも企業間連携や企業統合を視野に入れた事業拡大を積極的に、かつ、スピード感を持って進めてまいります。

トピックス (株)セントラルユニとのシナジー効果の創出

当社の連結会社である(株)セントラルユニは、医療ガス設備メーカー大手2社の一角にあるトップシェア企業です。また、業務代行店制度のもと地域の有力医療機器卸企業とのネットワークを築くとともに、SPDシステム関連市場の先駆者としてSPDセンター*の受託実績トップシェアを持つなど多くの経営資源を持ち、様々なシナジー効果が期待されます。

(株)セントラルユニには大学・国公立病院の地域基幹病院のSPDセンター業務の受託件数トップシェアを誇る(株)エフエスユニマネジメントという子会社があります。メディカルサプライ事業では同社が有するSPDセンター運営ノウハウと、当社グループの持つ物品調達・物流ノウハウを融合した新SPDシステム商品の企画・開発が可能となりました。今後はさらに、このシステム販売を通じて地域ディーラーと協働して院外SPD市場拡大に努め、地域の有力ディーラーとの共存共栄関係をより強固にしていく方針です。



*SPDセンター：診療材料・医薬品等の物品物流管理業務、MEセンター業務、滅菌消毒業務、洗濯業務等の院内物流の中心をなすセンターのこと。

ヘルスケア事業



事業概況

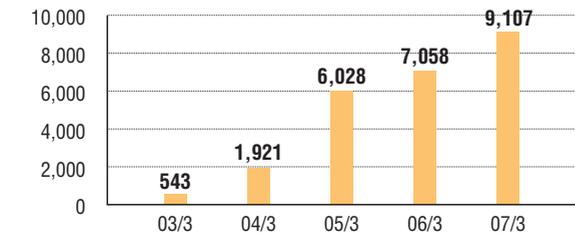
調剤薬局部門におきましては、2006年4月の薬価の大幅ダウンを受けて業界全体も厳しい状況にあり、当社グループも売上総利益率が低下し、減益を余儀なくされました。

ライフケア部門におきましては、第3号施設「ライフコート春秋」(定員162人、春秋ライフ(株)が運営)が2006年8月に開設(2007年3月末日時点で73人入所)、第4号施設「守口佐太有料老人ホームラガール」(定員189人、弘道会ライフ(株)が運営)も2006年10月に開設(2007年3月末日時点で80人入所)し、入居者を順調に確保してきておりますが、介護職員人材難を見込み採用計画を前倒し実行し、人材確保を行ったこと等から初年度経費が計画より増加することとなりました。

また、「エスペラル城東」につきましては、2007年3月末日時点で187名入所と、入院等による退所者が予定数を上回り稼働率が目標通りに確保できなかったことに加え、不動産流動化関連の経費増もあり、ライフ部門全体で営業利益が減益となりました。

以上の結果、売上高は9,107百万円(前期比29.0%増)となりましたが、ライフケア部門の新規開設費用等が影響し、営業利益は16百万円(同93.4%減)となりました。

■ 売上高(連結)の推移 (単位:百万円)



今後の方向性

調剤薬局部門におきましては、部門売上高100億円体制が整ったことから、グループ各社の仕入れ力、人材力等の連結強化、重複管理コストの削減等の経営効率向上を図りながら、M&Aも視野に入れ、店舗数と売上高の増加を図ってまいります。

ライフケア部門の介護付有料老人ホーム運営におきましては、運営力の強化と入居者確保のために各社グループ間の連携推進を進めるとともに、将来的な統合化へ向けた準備に入る予定としております。

トピックス 「千里中央地区再整備事業」への取り組み

「千里中央地区再整備事業」は、大阪府、豊中市及び財団法人大阪府千里センター(現財団法人大阪府タウン管理財団)が、千里ニュータウン内の約5.2haの資産を、民間活力の導入によって再整備するもので、当社グループを含む民間事業者が開発を推進しているプロジェクトです。

当社グループが計画する施設「(仮称)SHIP SENRI BLDG.」は、医療法人協和会が経営する千里中央病院(400床)と当社グループのユナイテッドライフ株式会社が経営する介護付有料老人ホーム(定員200人)を合築した全国初の大規模医療福祉複合施設であり、その他に保育所、調剤薬局、ヘルスケアレストラン、ライフサポートセンター、訪問看護ステーション等も併設する多機能施設を計画しております。当社グループは、医療法人協和会の協力のもと、千里中央地区におきまして、医療・介護支援と子育て支援を担い、世代を超えてふれあい支えあう街づくりに貢献していきたいと考えております。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当期 2007年3月31日現在	前期 2006年3月31日現在	前期比 増減額		当期 2007年3月31日現在	前期 2006年3月31日現在	前期比 増減額
【資産の部】				【負債の部】			
1 流動資産	54,179	39,547	14,632	流動負債	43,462	34,414	9,048
現金及び預金	13,833	10,654	3,179	支払手形及び買掛金	27,210	25,569	1,641
受取手形及び売掛金	30,049	24,905	5,143	短期借入金	5,951	2,996	2,955
たな卸資産	5,649	2,938	2,711	一年以内返済予定長期借入金	2,077	971	1,105
短期貸付金	2,381	169	2,211	未払法人税等	1,500	1,494	6
繰延税金資産	677	369	307	賞与引当金	603	244	359
その他	1,690	589	1,100	役員賞与引当金	21	-	21
貸倒引当金	△ 101	△ 79	△ 22	工事損失引当金	9	-	9
2 固定資産	36,033	24,887	11,145	繰延税金負債	6	5	1
有形固定資産	18,108	16,425	1,683	その他	6,080	3,133	2,946
建物及び構築物	7,017	4,857	2,159	4 固定負債	21,024	11,685	9,339
機械装置及び運搬具	249	272	△ 22	社債	2,939	1,438	1,501
賃貸資産	1,885	2,050	△ 165	長期借入金	16,256	8,890	7,366
土地	5,656	4,873	782	退職給付引当金	1,071	86	985
賃貸土地	2,691	2,654	37	役員退職慰労引当金	47	41	6
建設仮勘定	208	1,614	△ 1,405	繰延税金負債	220	346	△ 126
その他	399	102	297	その他	489	882	△ 393
無形固定資産	7,943	821	7,122	負債合計	64,486	46,099	18,387
投資その他の資産	9,981	7,640	2,340	【少数株主持分】			
投資有価証券	2,357	2,186	171	少数株主持分	-	18	-
長期貸付金	4,612	3,760	852	【資本の部】			
繰延税金資産	528	94	434	資本金	-	5,667	-
破産更生等債権	300	278	22	資本剰余金	-	6,593	-
差入保証金	1,150	783	366	利益剰余金	-	5,284	-
その他	1,342	822	520	その他有価証券評価差額金	-	772	-
貸倒引当金	△ 311	△ 284	△ 27	自己株式	-	△ 0	-
				資本合計	-	18,316	-
				負債、少数株主持分及び資本合計	-	64,435	-
				【純資産の部】			
				株主資本	19,641	-	-
				資本金	5,667	-	-
				資本剰余金	6,593	-	-
				利益剰余金	7,381	-	-
				自己株式	△ 0	-	-
				評価・換算差額等	421	-	-
				その他有価証券評価差額金	420	-	-
				為替換算調整勘定	0	-	-
				新株予約権	2	-	-
				少数株主持分	5,662	-	-
				5 純資産合計	25,726	-	-
				負債及び純資産合計	90,213	-	-
資産合計	90,213	64,435	25,777				

1 流動資産

流動資産の残高は54,179百万円となり、前期末に比べ14,632百万円増加いたしました。その主な要因は、新規連結子会社の増加等により、現金及び預金が3,179百万円増加し、受取手形及び売掛金が5,143百万円増加したこと及びたな卸資産が2,711百万円増加したこと等によるものです。

2 固定資産

固定資産の残高は、36,033百万円となり、前期末に比べ11,145百万円増加いたしました。その主な要因は、ヘルスケア事業におけるライフケア部門のホロニックライフ(株)保有の不動産を流動化したこと、新規連結子会社が増加したこと及び前期に引き続きヘルスケア事業におけるライフケア部門の施設建設により、建物及び構築物が2,159百万円、土地が782百万円増加したこと並びに、新規連結子会社の増加に伴いのがんが7,499百万円増加したこと等によるものです。

連結財務諸表

連結損益計算書

(単位:百万円)

	当期 2006年4月1日~ 2007年3月31日	前期 2005年4月1日~ 2006年3月31日	前期比 増減額
6 売上高	78,845	62,229	16,615
売上原価	68,815	54,388	14,426
売上総利益	10,030	7,841	2,189
販売費及び一般管理費	6,733	4,611	2,121
7 営業利益	3,297	3,229	67
営業外収益	789	501	287
営業外費用	443	404	38
経常利益	3,643	3,327	315
特別利益	1,635	1	1,634
特別損失	164	9	154
税金等調整前当期純利益	5,114	3,318	1,795
法人税、住民税及び事業税	2,176	1,821	355
法人税等調整額	253	△ 181	435
少数株主利益	215	△ 16	232
当期純利益	2,468	1,696	772

3 流動負債

流動負債の残高は、43,462百万円となり、前期末に比べ9,048百万円増加いたしました。その主な要因は、新規連結子会社の増加等により、支払手形及び買掛金が1,641百万円、短期借入金が増加した2,955百万円、その他(流動負債)が2,946百万円増加したこと並びに、新規連結子会社の増加及び新規連結子会社の取得等に伴い、一年以内返済予定長期借入金が1,105百万円増加したことによるものです。

4 固定負債

固定負債の残高は、21,024百万円となり、前期末に比べ9,339百万円増加いたしました。その主な要因は、新規連結子会社が増加したこと及びヘルスケア事業におけるライフケア部門の施設建築用資金借入、新規連結子会社取得に伴う借入等により、長期借入金が増加した7,366百万円増加し社債が1,501百万円増加したこと並びに、新規連結子会社の増加に伴い、退職給付引当金が増加した985百万円増加したこと等によるものです。

5 純資産

純資産は、25,726百万円となり、前期末に比べ7,390百万円増加いたしました。その主な要因は、新規連結子会社が増加したことにより少数株主持分の増加5,643百万円、利益剰余金の増加2,096百万円等です。

※貸借対照表の純資産の部の表示変更に伴い、純資産合計の増加額は前期末の資本の部と少数株主持分を合計した金額により比較しております。

6 売上高

病院経営環境の悪化による医療機器の買い換え需要の抑制など、厳しい状況にあった中、業容拡大へ向けた様々な施策に取り組んでまいりました。その結果、トータルパッケージシステム事業では計画以上のプロジェクト案件を確保し、メディカルサブライ事業では院外SPDシステムによる新規売上の増加、ヘルスケア事業では有料老人ホーム入居者の順調な確保などを果たし、主要3事業すべてで増収を達成し、全体では前期比26.7%増の増収となりました。

7 営業利益

今後の事業成長を見据えたライフケア部門(ヘルスケア事業)における新規開設費用等の影響はあったものの、その他の主要2事業における経営合理化策の奏功等により、売上総利益は増加し、販管費は最小限の上昇に留めることができました。その結果、営業利益は前期比2.1%増となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

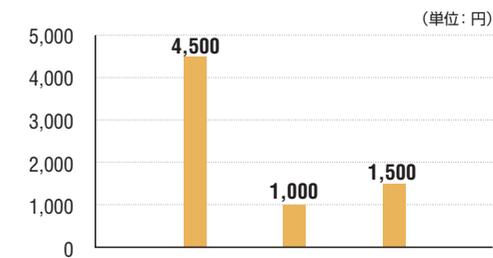
	当期 2006年4月1日~ 2007年3月31日	前期 2005年4月1日~ 2006年3月31日	前期比 増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	1,337	△ 979	2,316
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 10,511	△ 8,979	△ 1,531
財務活動による キャッシュ・フロー	9,833	10,323	△ 490
現金及び現金同等物に係る 換算差額	0	-	0
現金及び現金同等物の 増加(△減少)額	659	364	295
現金及び現金同等物の 期首残高	10,558	10,193	364
現金及び現金同等物の 期末残高	11,218	10,558	659

利益配分に関する基本方針

当社グループは、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保資金を確保しつつ、「安定的かつ継続的に業績の成長に見合った成果の配分をすること」を基本方針としております。このため、各期の連結業績を総合的に勘案しつつではありますが、中期的には連結配当性向20%を目標配当水準として長期的に安定した配当の継続を目指してまいりたいと考えております。

当期の配当につきましては、上記の方針に基づき、普通配当1,000円に東京証券取引所市場第一部への上場記念配当500円を加えました合計1,500円とさせていただきます。

■ 1株当たり配当金の推移



※当社は2005年8月19日付で、普通株式1株につき5株の割合で株式分割(無償交付)を行っております。

連結財務諸表

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本				評価・換算差額等			新株予約権	少数株主 持分	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定				評価・換算 差額等合計
2006年3月31日残高	5,667	6,593	5,284	△0	17,544	772	-	772	-	18	18,335
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 334		△ 334						△ 334
役員賞与			△ 38		△ 38						△ 38
当期純利益			2,468		2,468						2,468
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△ 351	0	△351	2	5,643	5,294
連結会計年度中の変動額合計			2,096		2,096	△ 351	0	△ 351	2	5,643	7,390
2007年3月31日残高	5,667	6,593	7,381	△ 0	19,641	420	0	421	2	5,662	25,726

Group Companies

グループ会社一覧

- 誠光堂(株)
事業内容:医療機器・消耗品の小売・卸売・修理・設備
- セイコー理化(株)
事業内容:理化学機器・公害防止機器・医療機器販売及び修理
- 誠光メディカル(株)
事業内容:医療用フィルム・薬品販売
- 誠光ライブ(株)
事業内容:介護福祉機器の販売及び用品の賃貸
- セイコーシステム(株)
事業内容:電子カルテ・レセコンシステムの販売及びメンテナンス
- (株)シップコーポレーション
事業内容:病医院の企画コンサルティング
- オルソメディコ(株)
事業内容:整形外科用機器・消耗品の販売
- (株)カテネットコーポレーション
事業内容:医療機器及び医療用具の販売
- (株)大阪先端画像センター
事業内容:各種放射線画像の読影及びその診断レポートの返信業務
- グリーンエンジニアリング(株)
事業内容:医療機器・医用検体検査機器等の製造・販売・技術サービス
- 日星調剤(株)
事業内容:調剤薬局の運営
- イング(株)
事業内容:調剤薬局の運営
- グリーンファーマシー(株)
事業内容:調剤薬局の運営
- (株)仙台調剤
事業内容:調剤薬局の運営
- ユナイトライブ(株)
事業内容:介護付有料老人ホームの運営
- ホロニックライブ(株)
事業内容:介護付有料老人ホームの運営
- 春秋ライブ(株)
事業内容:介護付有料老人ホームの運営
- 弘道会ライブ(株)
事業内容:介護付有料老人ホームの運営
- あいのライブ(株)
事業内容:介護付有料老人ホームの運営
- (株)西大阪地所
事業内容:不動産賃貸
- (株)三世会
事業内容:不動産賃貸
- グリーンアニマル(株)千里桃山動物病院
事業内容:動物病院の経営
- (株)ホスピタルフードサプライサービス
事業内容:病院・福祉施設向け食事提供サービス事業
- (株)サンライフ
事業内容:医療機器及び医療用具の販売
- (株)セントラルユニ
事業内容:医療環境設備機器製造販売
- (株)エフエスユニ
事業内容:医療設備の保守点検及び補修点検
- (株)エフエスユニマネジメント
事業内容:医療用消耗品の搬送及び在庫管理
- 韓国セントラル(株)
事業内容:医療設備機器・部品加工(日本へ販売)
- 韓国ユニ(株)
事業内容:医療機器部品の製造・販売(韓国国内販売)
- 台湾優寧股份有限公司
事業内容:国際貿易業
- アイネット・システムズ(株)
事業内容:病院・診療所向け医療情報システム商品の開発・販売・保守
- メディカルサプライネットワーク(株)
事業内容:診療所向け電子カルテシステムの販売
- (株)ジェイ・アイエスアイ
事業内容:ファシリタマネジメント等のコンピュータソフトの開発及び販売

会社情報及び株式関連情報

(2007年3月31日現在)

会社概要

商号 グリーンホスピタルサプライ株式会社
 設立 1992年8月
 代表取締役社長 古川 國久
 資本金 56億6,708万円
 決算月 3月
 従業員数 連結1,377名/単体151名
 本社所在地 〒565-0853大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL: 06-6369-0092(代)
 FAX: 06-6369-3191
 事業所 大阪、東京、広島

役員

代表取締役社長 古川 國久
 代表取締役副社長 伊藤 忍
 専務取締役 小川 宏隆
 取締役 播戸 健
 取締役 小林 宏行
 取締役 沖本 浩一
 取締役 黒田 敏史
 取締役 滝川 博三
 社外取締役 和田 義昭
 常勤監査役 竹原 靖昌
 社外監査役 水野 昌也
 社外監査役 細川 信義

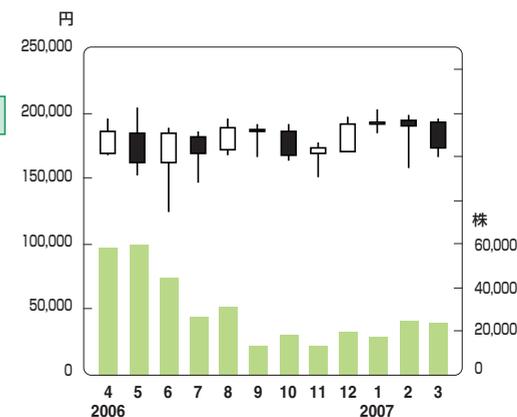
大株主

	所有株式数	所有割合
古川 國久	34,285株	10.26%
有限会社ココロ	33,819株	10.12%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505202	24,430株	7.31%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	18,147株	5.43%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,790株	5.33%
古川 幸一郎	15,850株	4.75%
グリーンホスピタルサプライ株式会社従業員持株会	9,536株	2.85%
三井アセット信託銀行株式会社	7,000株	2.10%
石川 幸司	6,311株	1.89%
資産管理サービス信託銀行(年金信託口)	6,297株	1.89%

株式の状況

発行可能株式総数 540,000株
 発行済株式総数 334,030株
 株主数 4,448名

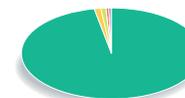
株価・出来高の推移



株式分布状況

●株主数別分布状況

自己名義株式	1名/0.00%
証券会社	20名/0.44%
金融機関	23名/0.51%
その他法人	43名/0.96%
外国人等	50名/1.12%
個人・その他	4,311名/96.91%



●株式数別分布状況

自己名義株式	17.5株/0.00%
証券会社	1,320株/0.39%
その他法人	40,654株/12.17%
外国人等	66,274株/19.84%
金融機関	78,196株/23.40%
個人・その他	147,568.5株/44.17%



アンケートのお願い

当社では、株主の皆様からいただいたご意見を誠実に受け止め、今後の経営及びIR活動に活かしてまいりたいと考えております。皆様からの貴重なご意見をお待ちしております。なお、本アンケートを当社ディスクロージャーの充実以外の目的には利用しないことをお約束いたします。

Q1 当社株式をいつ頃ご購入されましたか？

- ①1ヶ月以内 ②2～5ヶ月前
③6ヶ月以上前 ④1年以上前
⑤株式上場時（2005年2月）

Q2 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。

- ①中長期的に保有する ②短期で考えている
③買い増しする ④投資収益に応じて売却する
⑤未定

Q3 当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか？ （上位3点をお選びください）

- ①規模の拡大 ②ビジネスモデルの強化
③経営の効率化 ④収益性 ⑤安定性
⑥株主政策の強化 ⑦その他（ ）

Q4 当社のIR活動に関して、何を重視すべきと思われますか？

- ①株主通信 ②ホームページ ③株主総会
④個人投資家向け説明会の開催
⑤その他（ ）

Q5 今回の株主通信でご興味を持たれた内容は何ですか？

- ①グループ理念 ②株主の皆様へ
③特集「今後の成長に向けた基本戦略」
④連結財務ハイライト ⑤事業別の概要
⑥連結財務諸表 ⑦会社情報及び株式関連情報

Q6 今回の株主通信をどのようにご評価されますか？

- ①大変満足している ②ある程度満足している
③普通 ④あまり満足していない ⑤不満である

Q7 その他、ご意見・ご要望等をご自由にご記入ください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月中	
基準日	(定時株主総会)	毎年3月31日
	(期末配当金)	毎年3月31日
株券の種類	1株券、5株券、10株券、50株券、100株券	
単元株式数	1株	
株主名簿管理人	住友信託銀行株式会社 大阪市中央区北浜四丁目5番33号	
同事務取扱場所	住友信託銀行株式会社 証券代行部 大阪市中央区北浜四丁目5番33号	
(郵便物送付先)	住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10	
(電話照会先)	[住所変更等用紙のご請求] ☎0120-175-417 [その他のご照会] ☎0120-176-417	
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 全国各支店	
端株買取請求取扱場所	上記株主名簿管理人がお取扱いいたします。	
公 告 方 法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL(http://www.ghs-inc.co.jp)	

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで・・・

グリーンホスピタルサプライ株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
TEL:06-6369-0130(IR窓口) FAX:06-6369-3191

URL(ホームページアドレス)

<http://www.ghs-inc.co.jp>